

滋賀の環境トピックス

令和3年は「びわ湖の日」40周年。マザーレイクゴールズを策定！

〈環境政策課、琵琶湖保全再生課〉

令和3年「びわ湖の日」40周年の節目の年に、びわ湖をはじめとする豊かな自然とともに生きていくために、今、私たち一人ひとりができることを考えていただくきっかけづくりを行いました。

- ・7月1日 YouTube 生配信「知事と！西川大使と！「びわ湖」のこと考えてみ～ひん？」
※<https://m.youtube.com/watch?v=lzNOLGiKv3Y>
- ・7月11日「びわ湖の日」40周年記念シンポジウムの開催
※YouTubeで「びわ湖の日 シンポジウム」で検索すると、ご覧いただけます。
- ・「びわ湖との約束」絵手紙募集
- ・環境保全啓発パンフレットの作成
※YouTubeにて公開している映像は、期限によって公開を終了している可能性があります。



「びわ湖の日」40周年記念シンポジウムの様子



環境保全啓発パンフレット

また、7月1日には、琵琶湖を愛する多様な方々とともに、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標を示した「マザーレイクゴールズ (MLGs)」を策定しました（詳細はP.00）。



マザーレイクゴールズ賛同者会議の様子

日本水大賞「国際貢献賞」を受賞！

〈環境政策課、下水道課、商工政策課〉

ベトナムのハロン湾周辺で「琵琶湖モデル」を活用し、実施してきた環境保全等の支援協力について、令和3年6月、滋賀県庁が日本水大賞の「国際貢献賞」を受賞しました。

日本水大賞は、水循環の健全化に貢献するさまざまな活動を対象に、社会的貢献度が高い特に優れたものを表彰し、広く国民に発信することを目的として平成10年に創設されたものです。



表彰状受領



世界遺産/ハロン湾

今回受賞の活動は、企業や大学との産学官連携により、世界遺産のハロン湾周辺のクアンニン省やハイフォン市において、主にJICA事業により実施された、水環境問題の解決への取組に協力したものです。今後も琵琶湖保全に取り組んできた経験を活かし、国際貢献に取り組んでいきたいと考えています。

びわ湖・カーボンクレジットの普及促進

〈CO₂ネットゼロ推進課〉

“滋賀県内”の温室効果ガスの排出削減・吸収量増加活動により創出されるJ-クレジットについて、本県の特長を打ち出すため「びわ湖・カーボンクレジット」という呼称をつけて、普及促進を行っています。

民間企業においては地球温暖化防止や森林保全に重点をおいた環境貢献の取組として、寄付目的でクレジットを購入したり、自らの商品に活用することで消費者にCO₂排出抑制を喚起したりして、企業価値の向上につなげることができます。

企業の第1号取組として、株式会社日本旅行より、旅行者の移動で利用する新幹線や特急列車により発生するCO₂を、「びわ湖・カーボンクレジット」でオフセットできるオプションプランが販売されました。

「びわ湖・カーボンクレジット」の利用や活用商品が購入されることで資金循環が促され、県内のCO₂排出削減・吸収量増加の取組を更に進めていくことにつながります。

多くの企業と県が連携しながら普及を促進し、「しがCO₂ネットゼロ」ムーブメント」にもつなげていきたいと考えています。



「日本旅行のカーボン・オフセットの取組み」
「JRセットプラン Carbon-Zero」新登場!

取組事例：株式会社日本旅行

「JRセットプラン Carbon-Zero」

※J-クレジット制度とは

省エネ・再エネ機器の導入や適切な森林管理等の取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を価値化したもの（カーボンクレジット）を国が正式に認証する制度。

第72回全国植樹祭は令和4年6月5日（日）開催！

大会に向けて木製地球儀キャラバンが県内市町を巡ります。

〈全国植樹祭推進室〉

令和4年6月5日に第72回全国植樹祭を甲賀市「鹿深夢の森」で開催します。

大会に向けた機運醸成のため、県内全市町において全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」の巡回展示を行っています。また、巡回展示に合わせ「木製地球儀キャラバン」を実施し、木工体験（木のオリジナルノートづくり、プランターカバーづくり）や、啓発グッズの配布、苗木の無料配布などを行っています。巡回スケジュールなどは全国植樹祭公式HPからご確認ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/syokujusai-shiga2021/index.html>



木製地球儀キャラバンの様子

第72回全国植樹祭におけるCO₂ネットゼロの実現に向けて

「緑のしずくカーボン・オフセットプロジェクト」を始動しました。

〈全国植樹祭推進室〉

全国植樹祭ではCO₂ネットゼロに向けた取組の一つとして「カーボン・オフセット」を行います！

プロジェクトでは、森林がCO₂ネットゼロに果たす役割や、カーボン・オフセットの仕組みを学んでいただき、良好な森林を次世代へつなぐ行動を促します。

実際に触ってもらう展示と、パネルを読んで学ぶ展示を用意し、森林がCO₂を吸収する仕組みについて楽しく学べるようになっています。

さらに展示と一緒にカーボン・オフセットのための募金活動を行っています。

現在、全国植樹祭の関連イベントでこのプロジェクトを行い、CO₂ネットゼロに向けて取り組んでいます。



プロジェクトの様子



「森のようちえん[※]」をはじめ、森林などの自然を活用した幼児教育・保育を行っている団体を認定する「しが自然保育認定制度」が令和2年度から始まっています。

令和2年度は、県内初の認定として、びわこ文化公園内で認定書交付式を行った3団体を含め、合計5団体が認定されました。

今後は、実地研修や勉強会を開催することで、自然保育のレベルアップを図るとともに、他の保育所、幼稚園等に制度の普及や補助制度による支援を行っていく予定です。

令和2年度 しが自然保育認定制度 認定団体一覧表			R3.3.31現在		
	団体名	組織形態	市町	認定型	認定日
1	さくら坂こども園	認定こども園（私立）	草津市	一般型	R3. 7. 1
2	森のようちえん えくぼ保育園	企業主導型保育・認可外保育施設	大津市	特化型	R3. 7. 1
3	せた森のようちえん	任意団体	大津市	特化型	R3. 7. 1
4	大滝たきのみやこども園	認定こども園（町立）	多賀町	一般型	R3. 8. 1
5	城南保育園	認可保育所（私立）	彦根市	一般型	R3. 1. 1

※「森のようちえん」＝自然を活用した幼児教育・保育に特化し、保育時間の大半を森林などの自然フィールドで保育する団体の総称。

滋賀県林業会館が完成

滋賀県における林業関係の拠点である「滋賀県林業会館」は、老朽化に伴い令和2年度から建築が進められ、令和3年4月に竣工しました。新しい林業会館は、県産材がふんだんに利用されています。



滋賀県林業会館

また、一般流通材の利用等による木造建築物の低コスト化や、CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）、広葉樹材、大径材の利用等、滋賀県における木造非住宅建築物のモデルとなる建築物です。本来の事務所としての機能だけではなく、「滋賀の木の展示空間」としての機能も併せ持ち、さらなる活用が期待されています。

「やまの健康」推進プロジェクト ～ニュースポーツ：レイクッド～

「やまの健康」とは、森林・林業・農山村を一体的に捉え、魅力的な地域資源を活かしたモノ・サービスを皆さんの暮らしと結びつけることで、滋賀の豊かな暮らしを実現しようとするプロジェクトです。

令和2年度には、「やまの健康」が掲げる FATHER FOREST Life の推進に向け、やまに触れる機会の創出等を目的として、県産材を使った新たなスポーツ（レイクッド）を開発しました。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/310074.html>



県民アクションガイド



レイクッド